



会
報

東京
いずみぎ

東京出雲崎会
会 長 中川 久雄
発 行 者 石川 庄一
Eメール: ishikawashoichi7@gmail.com
携帯電話 080-1300-3138

2025年度

第 27 号

令和 7 年 1 月 吉日

いざな ふる里の風も誘う懇親会



2024
定時総会・懇親会開催

令和六年三月二十三日、錦糸町東武ホテルレバント東京で出雲崎から新町長仙海直樹様をはじめ、ご来賓の皆様をお迎えして、東京出雲崎会の総会を開催することができました。

総会一部では会長挨拶そしてご来賓の皆様からご祝辞を頂き、議事の中では近年財政難を実感しつつづけている会の打開策として「基金」として別会計で管理されていた預金を「一般会計」へ移行することを提案させていただき、出席会員の皆様からご承認頂けた事に、役員一同安堵した次第です。

第二部では、新年にふさわしく鏡開きに始まって食事会へと続き、銘々温かいお料理が振舞われ、一品ずつゆつくりと味わえるスタイルになっていました。コンソメスープはさすがにホテルのお味。美味しく頂き、今年のメニューも楽しみます。

食事の後は、出雲崎で古くから歌われていた「船唄」の披露、続いて「出雲崎おけさ保存会」の皆様による見事な唄と演奏、そして優雅なおけさ踊りを堪能させていただきました。

続いては、皆様お待ちかねの「輪踊り」です。各々が昔を懐かしみながら、個性豊かな「おけさ」を楽しみました。

また友人との語らいで時間が過ぎていきました。

今回は出席者が一〇八名と今までになく少なかったせいか「輪踊り」が繋がらず、チヨット寂しさを感じたのは私だけでしょか？

参加人数が少なくなっている状況は数年前から懸念されていて、会場費等をおさえる為に他の会場を検討したこともありましたが無理でした。

東武ホテルのサービスに感謝しつつ、歴史あるこの会を末永く楽しめるように役員一同頑張っております。

我々シニアには、仲間との交流はフレイル予防にも大切な事。また合併後の中学校を卒業された若々しい皆様、この会を利用して同級会の仲間を誘い合ってはいかがでしょう。

出雲崎を巣立った大勢の皆様を支えられている会です。ご参加を心よりお待ちいたしております。

(本村敏子)



会長挨拶

会長 中川 久雄

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます。

昨年はお正月気分の中、只中の一月一日夕方、能登半島地震が発生いたしました。関東地方もかなり揺れましたが、震源地に近い故郷出雲崎町では津波警報が出て近くの神社、お寺、公民館に避難をしたそうですが、不幸中の幸いでほとんど被害はなかったそうです。



三月二十三日の定時総会・懇親会には出雲崎町からは仙海直樹新町

幹事長挨拶

幹事長 石川 庄一

謹んで新年の

お慶びを申し上げます。

昨年の定時総会には関東地域以外の静岡県・山梨県・新潟県は魚沼市、出雲崎町からは新たに町長に就任された仙海町長をお迎えし総勢百八名の出席者を迎える事ができました。定刻に始まった総会も滞りなく進み二部の懇親会で更なる皆様方の深耕を深めることができました。



昭和十八年第一回東京出雲崎会が開催されてから今年で八十三年

長はじめ御来賓の皆様並びに新潟県人会からもご列席賜りました。

当日は総会開催前から久々にお会いする皆様方はお知り合いや友人の方と親交を温めておりました。当日のプログラム進行に則り議事が進められ懇親会がはじまりますと今回も出雲崎町より「おけさ保存会」の方々が会場を盛り上げて下さり、参加の皆様も楽しみにしておりました。輪踊りも始まり出雲崎の雰囲気満載となりました。

やはり東京出雲崎会の懇親会には「出雲崎おけさ」がなんとと言っても一番です。

さて私共東京出雲崎会も八十三周年を迎えました。これもひとえに皆様の熱意とご支援の賜物と深く深く感謝する次第でございます。今後ともお力添えをよろしくお願い申し上げます。

となります。

八十年を超える歴史を振り返ると故郷出雲崎も幾多の災害に見舞われました。特に昭和三十六年から三十九年にかけては昭和三十六年の第二室戸台風、昭和三十八年の三八豪雪、昭和三十九年の新潟地震と自然災害が続きました。

又、昭和二十四年には海上安全・大漁祈願の神事として「船まつり・船団パレード」がおこなわれ現在も町の催事として親しまれており今年で七十五年となります。

昨今の人口減少と高齢化による会員数の減少に加え個人情報等の取り扱い等により新規会員募集が年々困難な状況になっております。

当会を継承させる為に皆様方のご協力とご支援をお願い申し上げます。

定時総会・懇親会のご案内

◎日時… 令和 7 年 3 月 29 日 (土曜日)

受付開始… 午前10時30分より

開会… 11時30分 閉会… 午後3時

◎場所… 錦糸町 東武ホテルレバント東京 4階「錦の間」

(東京都墨田区錦糸1-2-2 ☎ 03-5611-5511) = 別紙案内地図参照

◎会費… 合計12,000円 (年会費2,000円 + 総会懇親会費10,000円)

※ 懇親会を皆様の同級会として活用されては如何でしょうか！

●お問い合わせは…

石川幹事長まで 080-1300-3138

Eメール: ishikawashoichi7@gmail.com

楽しい会話は
明日への力！



状況により中止場合があります

ふる里と懐かしい顔がいっぺい！



東京出雲崎会のホームページも、大勢の方々から楽しんでご覧頂き、誠に有難うございます。会員相互のコミュニケーション、情報交換等の連絡の場としてもご活用下さい。毎月更新しておりますので友人・知人の方々にも、ご紹介頂ければ幸いです。

「東京出雲崎会のホームページ」URLアドレス

<https://tokyo-izumozakikai.jp.org/>

または

東京出雲崎会

検索

(出雲崎町のホームページにもリンクしております)



保存会の踊り手の皆さん

総会 & スナップ 懇親会



みんなで楽しく踊りましょう



ご来賓の東京新潟県人会
副会長の佐藤永久様



ご来賓の方々による鏡開きで総会から懇親会へ



第一部司会の浅野幹事と
大槻副幹事長



出席の方々に声を掛ける
細木副会長



ねらの会の皆さん



紙ふうせんの皆様



おけさ踊りの輪に加わる左から仙海町長
・三輪議長・と長谷川副幹事長

↑二部の懇親会は
三輪議長の乾杯の
発声で始まりまし
た



飛び入りで出雲崎おけさを熱唱する出席者

印刷を創る

各種印刷から加工まで

有限会社 アイ・ディー・スィー

代表取締役 岡田 齊

ねらの会所属/住吉町出身

〒274-0812 千葉県船橋市三咲2丁目8番地12号

TEL.047(448)2293 FAX.047(448)2595

E-mail: idc@diary.ocn.ne.jp



新潟県出雲崎町羽黒町一〇一
電話 〇二五八(七八)三三八一
FAX 〇二五八(七八)三八二

みよや

割烹 御宿

国登録有形文化財の宿

第36回 夕渚会 東京談話会開催



う・たつの会

八月二日(金)、夜に花開いた昭和二十年長岡大空襲慰霊の白菊三発が長岡花火大会の開幕でした。例年にも増した猛暑の夜、絶え間なく打ち上げられた花火は二万発以上！打ち上げっぱなし二時間の大饗宴でした。圧巻は六分間のフェニックス、「平原綾香のジュピター」に乗せて金色の火柱が見ながら我々・たつの会は昨年(二年前)の古希(二年遅れ)

記念同級会&長岡花火に大歓喜！

記念同級会の夏バージョンをやりました。見物会場は同級生の持ちビル屋上で、それも打ち上げ場所のすぐそば！最高のロケーションでした。これに先立つ三時間前、長岡「割烹大島魚仙」で二十六名が再会を喜び、元気だったことを喜びあいました。(野崎秀憲)



令和六年十一月十六日(土)十三時より夕渚会恒例の「談話会」が開催されました。一年に一度の赤坂一ツ木通り。去年で最後と言っていたけど、再び会える事の幸わせ。中川さんのお陰！有難う、感謝致します。美味しいイタリア料理と三輪君差し入れの亀の翁の純米大吟醸とイタリア高級ワインで美味しく舌鼓。そして尽きないおしゃべり。日頃の疲れも吹き飛んで行く。二次会のカラオケはみんな古い歌ばかり。しか

し唄う歌手の若い事！見るのも楽しい。日頃余り唄わない松ちゃんがお父さんの好きだった歌だと言いながら春日八郎の歌など沢山唄ったのはびっくりでした。語らひは弾みに弾み延長で四時間も！後期高齢者であってもこのみんなの元気はどこから？出雲崎での中学校迄、共に育った仲間だから共々有る不思議な力なのではないか？又来年もあるかな？あるよね？あるある。(今井 妙)

出雲崎の情報発信基地



天領出雲崎 時代館
出雲崎 石油記念館
レストラン 阿や
物産館

〒949-8008 新潟県出雲崎 新潟6号地 7
TEL 0258-78-4000 FAX 0258-78-4770
http://www.shidez.co.jp/tenryu/
休館日:毎月水曜日(GW・8月15日) 年中年始

本年も出店させていただきます。

新潟の地酒(主な取扱銘柄)

久保田(朝日山) 銀の翼(越の巻)
清泉(和島)
他銘柄各種取り揃えております
—— 全国発送いたします。

株式会社 つるや

代表取締役 荒木 啓之

出雲崎町川西58(出雲崎駅前)
電話(0258)78-2233(代)FAX(0258)78-4236



株式会社 アイザワビルサービス

代表取締役 相 澤 仁
(しんやうかい)
(申西会/羽黒町出身)

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル
TEL 03-5909-2413
FAX 03-5909-2423
http://www.aizawa-rm.co.jp

車検・一般整備・新車・中古車販売・鈑金塗装・保険代理店



有限会社 松浦自動車

販売部 マツウラオート(株)

代表取締役 松浦 良雄

工場 〒168-0071 東京都杉並区高井戸西2丁目18番18号
展示場 〒168-0071 東京都杉並区高井戸西3丁目2番3号
TEL 03-3334-4361 FAX 03-3334-4462
メールアドレス : info@ucar-matsuura.jp

2024年度

令和6年度の出雲崎町の主な出来事をご紹介します。

(提供:出雲崎町・総務課)

ふるさと 便り

1 25歳のつどい

5月3日(金)に25歳のつどいを開催しました。この式典は、新型コロナウイルス感染症の影響により、成人式が中止となった令和2年度の年代を対象としました。

人生の節目を祝い、久しぶりに再会した同級生と語り合える場というのは、誰もが望んでいることです。実行委員会を中心に町教育委員会も協力して4年越しとなりましたが、厳かであり笑顔も見えた式典になりました。式典後は、町職員から町の魅力を紹介したビデオ放映と定住や子育て等に関する施策の説明をしました。人生設計を色々、模索する年頃かと思います。一人でも多く、故郷の出雲崎町で活躍してくれることを願っています。



2 船まつり



8月15日(木)に出雲崎漁港で、第73回船まつりが開催されました。

お札流しをはじめとした式典や6年ぶりの船団パレード、その他のイベントは予定どおり実施されました。会場に多

くの露店などが立ち並んでいました。海辺のまつりを楽しむ人たちで大盛況となりました。



3 多世代交流館きらり
屋外こども広場

4 出雲崎まんぶくまつり

10月6日(日)に天領の里で出雲崎まんぶくまつりが開催されました。

当日は、開催を祝うかのように晴天となり、会場は大勢の来場者で賑わいました。

出雲崎のブランド米「出雲崎の輝き」を使用した7種類のミニ井は、次々と人が並び、行列が絶えませんでした。気が付いたら、即売り切れするほど全て完売の盛況ぶりでした。



10月5日(土)に多世代交流館きらりで、屋外こども広場「いずもざき すまいるパーク」がオープンしました。公園などの遊び場が段々と少なくなっており、「外で遊べる場所がほしい」という子どもや保護者からの声を受け、令和5年度より広場を整備しました。様々な種類の滑り台、ロープやネットを使用したクライミングなどのアスレチック遊具が完成し、オープン初日には大勢の方が訪れ、友達や家族と一緒に楽しそうに遊んでいました。誰もが楽しめる広場となっていますので、皆さんもぜひお越しください。

5 いずもざきマラソン'24

10月27日(日)にいずもざきマラソン'24が開催されました。

コースは砂利道の村道から佐渡を望む日本海まで高低差約100m、15.5kmのロングコースの他、ファミリーコースなど全4種類あり、県外から参加したラン



ナーを含めた約450名が参加しました。また、ハロウィンに近いこともあり、パンプキンの被り物やアニメのキャラクターに仮装し走っている参加者も見られました。

当日はマラソンには、丁度よい気温と天候となり、ランナーは「出雲崎町のおもてなし」を受けながら、町内を爽やかに駆け抜けました。

旬の味わい、季節を食す。

割烹・なごみの宿

佐平次

新潟県三島郡出雲崎町羽黒町 111-1
TEL 0258-78-2116
FAX 0258-78-4714

名称: トリケラトプス 産地: 北アメリカ
時代: 白亜紀後期



株式会社 パレオサイエンス
Paleo Science Corporation

代表取締役 中川 久雄
(夕渚会/羽黒町出身)

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目11番14号 赤坂ベルゴ 511
TEL: 03-5575-3651 FAX: 03-5575-3652
E-mail: info@paleo-science.co.jp

コロナ禍で中止になっていた「石井町倶楽部・懇親会」を十一月三日(日) 吉池食堂9階で開催しました。当日は十七名の参加で十二時福井満さんの挨拶で始まりました。

常連さんの欠席がめだつ中、こぢんまりとした会になりましたが、久し振りに会う幼なじみとの出雲崎や石井町の話題であつという間に時間が過ぎていききました。

名残り惜しいまま二時半に散会しました。

みかけはともかく皆さん中身はあの頃のままだです。

今後について、アンケートでは続けてほしいという声もあり、世話役の宿題となりました。

(大槻鈴子)



「石井町倶楽部・懇親会」を十一月三日(日) 吉池食堂9階で開催しました。

六年ぶりの開催

十一月二日(土) 錦糸町の「庄や」において、家族会員二名の参加も得て、十四名での「第10回・住吉町懇親会」を開催いたしました。

前回の開催より、六年という年月が過ぎ去り、数名の方々とは、もうお会いすることが出来なくなり、一抹の寂しさを感じる中、今回は、年齢の若い方の参加があり、この会の先行きに光がさす思いでした。

ふる里を共にする者には、年齢も時間も関係なく、育ったところの海や山々町並み々をなつかしむ話が口々に飛び交い、あつと言う間の二時間が過ぎました。六年という空白はありましたが「美味しいものを食べる会」は今年も健在でした。

(宇賀神登代子)



季節外れの真夏日に集う 羽黒町会

季節外れの三十度越えの真夏日となった令和六年の十月十九日(土) 第十六回羽黒町会が御徒町吉池で開催、女性二名を含め十一名の方が参加しました。

小林さんの挨拶、石井さんの乾杯から近況や田舎の会話が弾み、気が付けば二時間半が過ぎました。

平成十八年(2006)十一月に第一回目に三十九名でスタートした当会も時を重ね十名前後の出席者となりました。

来年も継続の賛同を得て、丸山さんの一本締めで和気あいあいと帰路につきました。

(石川庄二)



後列左から石川・小林・坂口・椎谷・石井・大磯・磯野
前列左から丸山・中川・磯部・大谷

井之鼻会

穏やかな十月二十日(日) 十二名でいつもの吉池で開催致しました。

しかしこれは奇跡でした。予約を二十七日と思い込んで案内を出していたからです。十三日に初めて二十日と気付く電話攻勢! 多くの皆様にご迷惑をおかけしてしまい、心からお詫び申し上げますと共に深く感謝申し上げます。

☆この日もこやかに皆さんと歓談していた中尾栄さんが十一月四日に急逝され、六日に押見朝子さんと仲間と一緒に蒲田にてお別れをして来ました。

有難うね! 心から御冥福をお祈り申し上げます。

(今井 妙)



トラブルにも関わらず...感謝

来た道程を共に
思い出として語り合う

鮎獅子は我ら町内の誇り!

住吉町会

良寛堂で共に遊んだ
竹馬の友の集い

石井町倶楽部

個性の花園

羽黒町会

ゆかり人の語りべ処

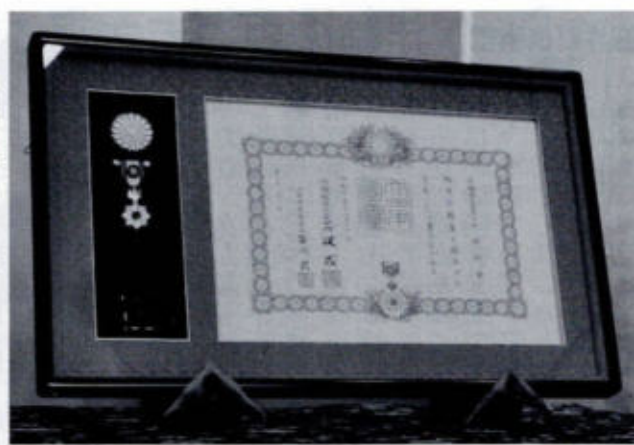
木折町会

伝統継承の集い

井之鼻会



↑ お祝いの花束を受ける小林前町長夫妻



↑ 今回受章の文化勲章（旭日小綬章）



↑ 中川会長・岡田前会長の席に
挨拶にこられた小林前町長



叙勲綬章の謝辞をのべる小林前町長と奥様

年会費の納入にご協力を！

当会が定みなく運営されるのも、皆様からの年会費が大きな役割を果たしております。心より感謝申し上げます。

又、今回の定時総会に都合で欠席される方には、お手数をお掛けいたしますが、同封の郵便振替用紙にてお振込下さいますようお願い申し上げます。

会計委員会

『編集後記』

コロナ禍の影響もほぼなくなり各種イベントも以前と同等の活気を取り戻してきています。夏の船祭りではふるさと納税による優先乗船という新たな試みにより数年ぶりとなる船団パレードも実施され、猛暑の中、活気に満ちた一大行事が行われました。

昨年は長期就任された小林町長から仙海新町長へと交代もあり、出雲崎町と東京出雲崎会も又、新たな改革、出発の年でもあった様に思います。

年々、会員の減少も認めざる状況ではありますが、ふるさと出雲崎を思う気持ちは何年経っても変わらないうちにはないでしょうか。

三月開催の総会・懇親会では皆様の元気なお姿を楽しみにしております。

（浅野康之）

2025年度の事業予定

- 1月18日（土）役員会（会報発送作業）
 - 2月8日（土）役員会 定時総会・本年度活動方針他
 - 3月29日（土）**2025年度（令和7年）
定時総会 & 懇親会**
 - 4月12日（土）役員会 新年度活動方針の審議／来年度
 - 6月17日（火）出雲崎大祭（予定）
 - 7月12日（土）会報編集会議（28号）各委員会・役員会
 - 8月15日（金）船まつり・花火大会（予定）
 - 8月16日（土）出雲崎町成人式（予定）
 - 9月20日（土）会報編集会議（28号）・各委員会
 - 11月8日（土）会報編集会議（28号原稿締め切り）
 - 12月6日（土）役員会・各委員会 ＊来年度総会の件＊
会場案内状の件／各行事参加報告 他
- 2025年度「新潟県人会関係」ほか
- 1月25日（土）新年祝賀会..... 椿山荘
 - 7月 納涼大会.....（未定）